



学校運営協議会だより

令和4年 11月 21日 No3

# 市川市立 若宮小学校

## 第3回 学校運営協議会開催

若宮小学校は、平成29年度から学校運営協議会を設置しコミュニティスクールとしてスタートし、本年度で6年目を迎えます。学校運営協議会は、「学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育に取り組み、よりきめ細かな、質の高い教育活動を展開し、地域に開かれた学校を実現すること」を目的としています。

第四中学校、中山小と方針を確認しながら、共同開催を持ち、四中ブロックとしてコミュニティスクールを推進しています。

今年度は、6月17日（金）に第1回目を開催し、第2回は7月13日（水）に第四中にて、地域活動推進員さんを中心に共同開催いたしました。今回は、11月5日（土）に市川市教育委員会学校地域連携推進課より湊主査も出席されました。「創立70周年 若宮っ子体験授業」を参観及び給食の試食をしていただき、皆様から頂いた学校評価をもとに各委員からたくさんのご意見、ご感想を頂きました。

### 校長より

- 学校評価について、保護者の皆様に配付した集計結果をもとに、若宮小の良いところと課題について説明しました。
- 登下校中の道路での歩き方等で、注意されたことがある。今後も放課後の過ごし方や登下校中の歩きかたなどを再度指導していく。

### 意見交換

- 特色ある教育として、「若宮っ子体験授業」、地域の「梨園」「田んぼ」を活用した学習など取り組んでいるが、学校の取り組みや工夫が伝わっていないのではないか。その為に、保護者も参加型の一緒に学ぶ取り組みなどを行っていくのもよいのではないか。更に、保護者や地域の方が見たくなるものを作成していくことが必要なのではないか。
- 今回の「若宮っ子体験授業」もいろいろな体験をすることで、学びや気づきがありとてもよかったが、以前に行っていた「ふれあいまつり」も検討していただければ、地域とのつながりにもなると思う。
- 読書教育にもっと力を入れてほしい。「言葉遣い」「読書好き」な子になってほしい。
- 学力の基礎・基本を今後も丁寧に行っていてほしい。積極的に関わり、繰り返し行い、持続可能なものにしていかなければいけない。先生だけでなく、保護者と一緒に行っていくことも大切だと思う。
- オオムラサキは、羽化した後はどのようなになっているのか。
- オオムラサキは、羽化した後は、自然界に放すことができないので、学校内（職員玄関前）で育てなければならない。

### 地域から

- 「秋祭り」についての話がありました。

※貴重なご意見をもとに、子供達のために教員一丸となって頑張っています。